



自立活動だより



今回の「自立活動だより」では自立活動の基本的な考え方を改めてお伝えします。「基本的なことなら、知ってるよ」という方も多いかと思いますが、再確認のつもりで目を通していただけたらと思います。



自立活動、何をしようかなあ。

自立活動は「子どもたちのできることを増やして、各教科の学びを支える力」を育てる学習のことだよ。



学びを支える、って…？

私たちの学校には、障害や特性から、学習面や生活面で、困難さをもっている子どもたちがいるよね。



国語や生活単元学習、体育や作業学習に取り組みたいけど…！



感覚過敏



こだわり



落ち着かない



不器用さ



そこで、自立活動の取り組みが必要になってくるのか！

日常生活の指導

国語・算数

音楽・体育

作業学習

自立活動

【各教科の学びの土台】

自立活動では、六つの区分があって、例えば、

- ① 排せつや食事などの生活リズム(健康の保持)
- ② 気持ちのコントロール(心理的な安定)
- ③ 集団の中で生活すること(人間関係の形成)
- ④ 周りの状況を理解して行動すること(環境の把握)
- ⑤ 手指や体の使い方(身体の動き)
- ⑥ 意思の伝え方(コミュニケーション)

を身に付けるために、指導していくよ。具体的には…。



自分の気持ちを伝えるために、
絵カードを使う練習をしたり、
(②心理的な安定)
(⑥コミュニケーション)

いま、どんなきもち？	
たのしい!!ハッピー!!	😊
まあまあ。オッケー!	😊
やる気がでないよ。	😐
かなしいな。	😞
やだよ!つまんない!	😞

他者との関わりを学ぶために、
先生や友達と歌遊びをしたり、
(③人間関係の形成)



ボディイメージを高めるために、
粗大運動や遊具で体を
動かしたり、(⑤身体の動き)



認知の力を高めるために、
マッチングの課題に取り組んだりするよ。
(④環境の把握)



じゃあ、自立活動の指導、何から始めたらいいかな…。



児童生徒は、それぞれに障害、特性が違うからね。その子のニーズに
応じた目標、その子に合った支援方法を明確にして、個別に計画を作る
ことが自立活動の指導の第一歩になるね。



I 期の内容と手だては、昨年度の先生が設定してくれ
ていたね。実際の授業はどんな風に進めようかな。

実態把握には、
アセスメントを
活用するといいよ。



子どもの実態に応じて、個別で行う課題と、小グループで行う活動の
両方を組み合わせて授業を設定するのはどうかな。



集団を前提として指導するのではなく、個々の困難さや
課題に焦点を当てて、指導するんだね。



自立活動を通して、その子の困難さを補い、学びを支える力を育ててい
くことで、安心して学んだり、生活したりすることができるように指導して
いきたいね。

もし、授業の進め方に悩んだら、気軽に相談支援部職員に相談してね。



自立活動
大好き!



その子らしく、学校で学び、
社会で生きていくために必要な力を育て、
心身共にバランスの良い成長につなげよう!

